

科目名	国語 Japanese	科目コード	20030
-----	----------------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・3年
担当教員	猪平 直人（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義56，その他4】
教科書	『高等学校現代文B』（第一学習社）・『古典A』（東京書籍） （→以上の2冊は2学年からの継続使用、購入済み。）
補助教材	『音と形で覚える漢字の演習』（明治書院）・『クリアカラー国語便覧』（数研出版）（→以上の2冊は2学年からの継続使用、購入済み。）
参考書	国語辞典・古語辞典・漢和辞典など

### 【A. 科目の概要と関連性】

1・2学年より高度な教材を用いて、総合的な国語力の向上を図り、より深い人生観照の態度の獲得を目指す。現代文では、高度かつ多様な文章の読みを通して読解力を高め、古典では、古文・漢文の主体的な読解・鑑賞を通して古典に親しむ。人間・社会・自然等に関する考えを深め、人生を豊かにする態度を育てる。また、実践的な国語表現の力を養い、思索する力を伸長させる。

○関連する科目：国語(1～4年)、文学I(4年後期)・日本言語文化(専攻科1年後期)

### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A)(B)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①論理的な文章を的確に読解する力を身に付ける。	20%	(a1)(a2)
②文学的な文章を的確に読解・鑑賞する力を身に付ける。	20%	(b1)
③語彙を豊かにし、正しい言語感覚を身に付ける。	20%	(b2)
④基礎的な古文・漢文を的確に理解・鑑賞する。	20%	(a1)(b1)
⑤表現の実践を通して、豊かな国語表現力を身に付ける。	20%	(b2)

### 【C. 履修上の注意】

授業で扱う教材は、事前に必ず通読し、語句の読みや意味を調べておくこと。特に、古文・漢文については、音読の練習を欠かさないこと。また、平生の学習や読書を努めて心がけること。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。XX点以上を合格とする。

- 定期試験(80%)【内訳：前期中間20，前期末20，後期中間20，後期末20】
- その他(20%)

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（1）	
2	現代文（随想・評論）の読解（2）	
3	現代文（随想・評論）の読解（3）	
4	古文の読解・鑑賞（1）	
5	古文の読解・鑑賞（2）	
6	古文の読解・鑑賞（3）	
7	前期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（1）	
9	現代文（小説）の読解（2）	
10	現代文（小説）の読解（3）	
11	国語表現の実践（1）	
12	漢文の読解・鑑賞（1）	
13	漢文の読解・鑑賞（2）	
14	漢文の読解・鑑賞（3）	
—	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

● 後期

回	内容	備考
1	現代文（随想・評論）の読解（4）	
2	現代文（随想・評論）の読解（5）	
3	現代文（随想・評論）の読解（6）	
4	古文の読解・鑑賞（4）	
5	古文の読解・鑑賞（5）	
6	古文の読解・鑑賞（6）	
7	後期中間試験	試験時間：50分
8	現代文（小説）の読解（4）	
9	現代文（小説）の読解（5）	
10	現代文（小説）の読解（6）	
11	国語表現の実践（2）	
12	漢文の読解・鑑賞（4）	
13	漢文の読解・鑑賞（5）	
14	漢文の読解・鑑賞（6）	
—	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	